

ふれあい つつしん

No.135

2020.12.25



社会福祉法人
板柳町社会福祉協議会



赤い羽根共同募金
街頭募金運動実施しました

小阿弥小4年生 10月16日 伊徳板柳店にて

防災体験 ふだんのくらしのしあわせ

9月30日に板柳町公民館体育館において「防災体験」が開催されました。参加者は板柳町社会福祉協議会役員等、約35名が参加しました。板柳町では近年、大きな災害は発生していませんが、災害への備えと意識を高めること、そして防災に関する知識の向上を目的として開催しました。

講師に一般社団法人コミュニティ・4・チルドレンの菅原氏を迎え講演していただき「社協は様々な担い手と連携し、『縁の下』の力持ち」として災害発生時には率先して活動してほしい。福祉も防災も目指すところは一緒です」と話されていました。

会場には段ボールベッドや簡易トイレ等の展示をし、昼食に非常食を食べていただきました。午後には身近にあるもので作れる「マスク・カップ・スリッパ」を作成し、完成したものを身に着け、「意外と簡単に作れますね」「家でも作ってみよう」「参加してよかった」との感想が聞かれました。

マスク 材料：キッチンペーパー、ストッキング
ホチキス、マスキングテープ



カップ 材料：ゴミ袋、ハサミ



スリッパ 材料：新聞紙

赤い羽根共同募金運動

今年も10月1日より全国一斉にスタートしました♪

9月25日行政連絡員さんを参集し令和2年度赤い羽根共同募金運動打ち合わせ会を実施しました。10月6日に東小学校6年生、10月16日に小阿弥小学校4年生が伊徳板柳店さん入り口で街頭募金を行いました。コロナ禍ではありましたが、マスクとフェイスシールドをつけビニールの手袋をはめて感染予防対策をしながら募金を呼びかけ多くの方々にご協力頂きました。さらに板柳町マスコットキャラクター「あぷりん」も一緒に街頭募金運動に参加してくれました。今年は赤い羽根がステッカー(シール)に変わり、窓口で500円以上の募金をして頂いた方には赤い羽根とあぷりんをコラボした「ピンバッジ」を差し上げています。なお、公民館内にピンバッジ用のガチャガチャ募金箱を設置しております。ピンバッジをゲットしませんか。



赤い羽根共同募金運動は法律に基づく募金として昭和22年に始まりました。

板柳町社会福祉協議会(社協)は町から公民館業務を行う指定管理者として委託されている事をご存知ですか。社協としても公民館で事務をしたり、ヘルパーの派遣や福祉相談などの仕事をしていきます。また体育館や野球場の予約あるいはコーラスグループや習字、陶芸など文化教室のための会場管理、夏季には水泳プールの監視(委託)等も行っています。勿論社協事業は関係する法に基づき福祉活動を行っています。多岐にわたる仕事をしているので内容は省略しますが、町民の皆さんが社協も公民館も利用し易い様に設備を整えたり、衛生面に配慮しながら公民館としての機能を保ちながら万全の態勢をもって管理しています。また、年間延べ二千八百余名の学童クラブのための教室を開放しています。

昨今の新型コロナウイルス拡大のため利用の制限があり利用者にとって不便をかけますが御理解と御協力をお願いいたします。



会長あいさつ

板柳町社会福祉協議会

会長 竹浪 司

避難訓練



配食サービス

月一回、65歳以上の一人暮らしの高齢者に、民生委員さんと社協職員がお弁当を配達しています。併せて安否確認を行うことにより、地域福祉の向上に役立っています。



第22回 板柳町福祉大会受賞者

特別表彰状 竹内照明様
表彰状 小田桐良一様・川口悦子様
松林ゆき糸様・成田常盤子様
成田キナエ様・野宮忠徳様
感謝状 板柳町商工会様
株式会社佐藤長板柳店様

今年は新型コロナウイルス感染予防対策として表彰のみを行いました。



上段：葛西事務局長 山田副会長 野宮忠徳様 小田桐良一様 板柳町商工会様
下段：松林ゆき糸様 竹内照明様 竹浪会長 佐藤副会長

ふれあいデイ&ふれあい昼食会

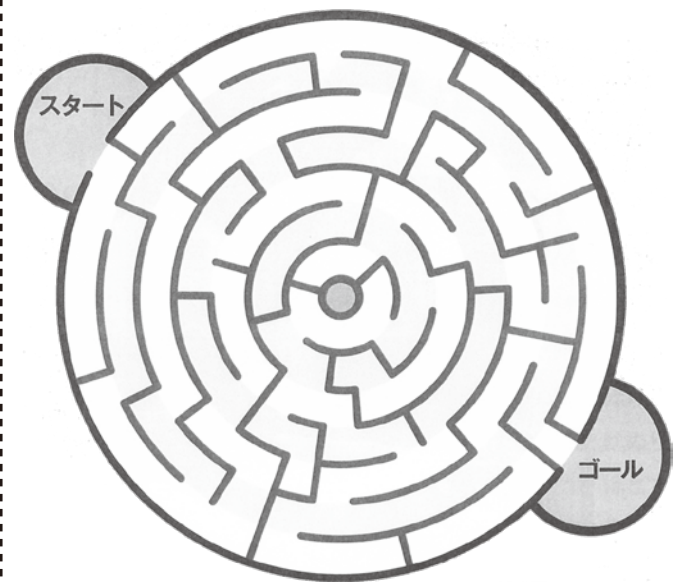
コロナウイルス感染症予防対策をしながら、事業を再開しました。
(マスク着用、手の消毒を徹底し、事業を行っています)



ちょっと脳トレ

～脳は使えば使うほどイキイキします～

★スタートからゴールまで進んでください。行き止まりの場合はもう一度スタートからやり直しましょう。目標タイムは1分です。

ひとり親家庭の
中学3年生の皆さまに
図書カードを
プレゼントします!

この春、中学校を卒業されるひとり親家庭の中学3年生の皆さまに、板柳町社会福祉協議会より図書カード(千円分)を贈呈します。

希望される本人又は家庭の方は、印鑑及び証明するもの(児童扶養手当証明書等)をご持参のうえ、板柳町社会福祉協議会までお越しください。

★対象となる世帯

令和3年3月に中学校を卒業される方を含む以下の世帯

- ・父子世帯 ・母子世帯
- ・父母にかわって養育している世帯

★贈呈期間

・令和3年3月1日(月)から3月31日(水)
午前9時から午後5時(平日)

★贈呈場所

板柳町社会福祉協議会(公民館内)

★問い合わせ先

板柳町社会福祉協議会 電話 72-1161

社会福祉実習生

8月12日から9月11日まで
1か月間、弘前学院大学社会福祉学部3年松野汐那さんが板柳町社会福祉協議会で実習を行いました。



私が福祉関係に興味を持つきっかけとなった事は、祖母が転倒した時です。この時から福祉について勉強して知識を身につけたいと思い始めました。地域の方々との関わりやネットワークの形式など重要なことが沢山あることを学びました。今年はコロナの影響で難しい状況の中、何とか事業を実行できる方法を考えている板柳社協で実習することが出来て良かったです。地域住民や行政等と良好な関係を築いていける社会福祉士になりたいと思います。

板柳町地域包括支援センター



のお仕事 その2



～介護について～

地域包括支援センターでは、日常生活や介護のことなどさまざまな相談も受けつけています。

相談内容としては?

- ・どうしても介護サービスを利用できるの?
- ・どうやって介護したらいいの?
- ・施設に入りたいが、どうしたらいいの? などがあります。

地域包括支援センターでは、本人がどのような心身の状態、生活状況を確認したうえで、対応しています。

- ・要介護認定の申請代行
- ・介護保険サービスの説明、提案、施設の紹介
- ・介護技術や介護方法の提案・指導 など



日常生活や介護のことなどお気軽にご相談ください。

板柳町地域包括支援センター(板柳町公民館内)



電話 0172-79-2116



善意の窓

(敬称略受付順)

- ◆古川仕出し店 古川正・15,000円
- ◆居酒屋すずらん・・・8,000円
- ◆(株)佐藤長板柳店・・・3,596円
- ◆板柳地区更生保護女性会・5,000円
- ◆BAFORA会・・・10,000円
- ◆三上正一・・・100,000円
- ◆匿名3件・・・25,476円



事務局職員よりメッセージ

葛西 陽子

最近「ありがとう」って言いましたか？「今日もお疲れ様」って労っていますか？当たり前ではなくて、日々感謝の気持ちを忘れずにいることが大切。家族・友人・職場などに何か一言メッセージを添えるだけでそのプレゼントは今までのどのプレゼントよりも嬉しいものになるはずですよ。

齋藤 拓

コロナ禍で人が集まることが難しい昨今。会議等はリモートが主となり、コミュニケーションの場が狭まる一方。顔を合わせることの大切さを実感しています。

坪田 琴美

ある夫婦の会話。「今日、何曜日だっけ？」と質問し、「15日だね！」と答え「んだが」とうなずく。阿吽の呼吸。お互いの声を聞いてさっぱりしているのでしょうか。奥が深い。

竹浪 大輔

今年のお祭りはことごとく中止になりましたね。ねぶたもそうですが、日本のお祭りは厄除けや願掛けがほとんど。とにかくコロナの終息を願うばかりです。

広域法律相談所

《 弁護士による法律相談所です 》

◆受付申込 板柳町社会福祉協議会 ☎72-1161
※予約が必要です。

◆時 間 10:00～12:30 (1件当たり30分)

◆開催日・相談会場は下記のとおり

開 催 日	相 談 会 場
令和3年1月22日(金)	平川市 平川市健康センター
令和3年2月26日(金)	大鰐町 総合福祉センター

「法律と生活に関する相談」 無料出張相談窓口 In 板柳

主催 法テラス青森・青森弁護士会
青森県社会福祉協議会

体調に不安があるけど
働きたい…
どうやって仕事を探せば
いいのかな…

借金がたくさんあって
なにがなんだか
わからない…
どうすれば…



生活するのに困りごとや心配ごと、悩みごとがあるけど「どこに相談すればいいのかわからない」、法律問題も含めて生活課題をお抱えの方はこの機会にご利用ください。

相談は事前予約制で収入や預貯金などの条件があります。

予約の時に聞き取りいたします。

■開設日・・・令和3年2月22日(月)

■会 場・・・板柳町社会福祉協議会
(板柳公民館内)

■予約締切・・・令和3年2月17日(水)

予約・お問い合わせ 中南地域総合相談窓口

電話 0172-88-8637 FAX 0172-88-6899

月曜日～金曜日9:00～17:00

※土・日・祝日を除く



社会福祉法人 板柳町社会福祉協議会

〒038-3661 北津軽郡板柳町大字福野田字実田11の7 TEL(0172)☎72-1161 FAX(0172)72-1170

ホームページ: <http://www.itayanagishakyo.or.jp> 印刷:(株)久保田印刷 TEL 0172-72-1212/FAX 0172-72-1213